許せない！福祉減免改悪・11回落選者特別措置制度廃止

安全・安心 住み続けられる市営住宅を

国の方針を受け、自民、公明、民主の後押しで市営住宅の建設は抑えられ、応募倍率は上がるばかり。その上、福祉減免や十一回落選者特別措置制度の廃止までねらわれています。

日本共産党は、これまでも住民のみなさんと協力し、家賃値上げに反対し、市営住宅の維持管理やバリアフリーの推進、耐震対策など、補修予算の拡充を求めてきました。国の政令改悪による家賃値上げに反対し、安全・安心で住み続けられる市営住宅の実現にがんばります。

日本共産党の提案

●市営住宅の建設を

建て替え時に戸数減、建替え余剰地の売却を行わず、市営住宅を新たに増やす計画を立てます。中央区や西区、福島区など、市営住宅のない行政区には優先的に建設します。

●福祉減免制度の改善

そもそも福祉減免制度とは、世帯の収入が絶対的に少ないために家賃の支払いが困難な入居者のための補助制度です。市営住宅の福祉減免制度の改悪を許さず、税制改定による家賃値上げにストップをかけます。

●補修、修繕を早急に

「外壁がひび割れで今にも剥がれ落ちそう」「窓枠サッシが古くて隙間風がピューピュー」「電気容量が小さくてすぐにヒューズ飛がぶ」等々住宅の老朽化は深刻です。必要な補修費を組み、早急に修繕します。

「福祉減免は不公平」「11回落選者特別措置見直せ」 公明党

「11回落選優遇措置について‥その制度の見直しは、…慎重にお願いします」「福祉減免制度‥減免後の平均家賃が約5000円、民間賃貸の平均家賃が22,000程度ですか。…受益の観点から不公平な状態。…慎重に見直しをしていただきいと思います。
（2006年3月16日計画消防委員会　公明党議員）

写真

府会候補肩書き

府会候補名前

写真

市会候補肩書き

市会候補名前

日本共産党　　委員会の政策をご紹介します。

民報題字

日本共産党

どんなことでもお気軽にご相談ください